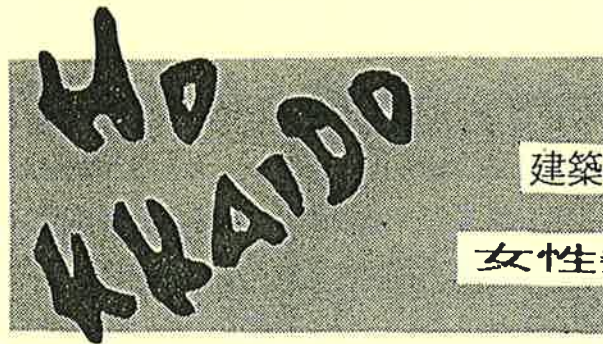


NO
11



建築士会

女性委員会

平成6年7月10日 発
編集発行 女性委員会

〒060 中央区北4条西5丁目 三井生命共同ビル (社)北海道建築士会 ☎ 011-251-6076

女性委員会発足

昭和63年の釧路大会において40余名の女性建築士が初めて集い、それから7年、「高齢化社会とまちづくり」をテーマに調査・提案へと歩みを進めて、昨年は全国大会において同テーマによる「フォーラム」開催までに至った。

この成果を基に、本年1月1日をもって女性部会が女性委員会として自立した。約210名の会員と共に、更に地域に密着しながら、きめ細やかな活動をめざしていきたい。具体的には、テーマ別(高齢化問題、住まいづくり、まちづくり、住教育など)の部会活動に取り組み、会員相互の研鑽と社会貢献に努力していきたい。参加と協力を!

最新情報

- ・建設省 ①「生活福祉空間づくり大綱」の策定(H6.6.29)
いきいきとした福祉社会に向け、住宅・社会資本整備の方向性、整備目標などを総合的にまとめたもの。
- ②「高齢者・障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律」の制定(H6.6.29)
誰もが利用しやすい、やさしいまちづくりを目指したもの。
- ③「長寿社会住宅設計指針」の策定(H6) 集合住宅編、戸建て住宅編
誰もが利用しやすい、やさしい住まいづくりを目指したもの。
- 内容に関心のある人は、齋藤までお知らせください! (FAX 011-785-0111)

全国女性委員会連絡協議会のレベルの高さに刺激

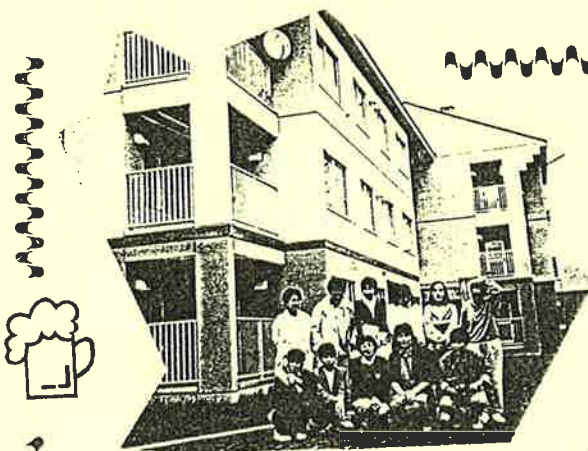
— 2日連続の協議会に参加者161名も参加—

女性建築士の各都道府県の代表が集い、共通のテーマの基で継続的に協議・検討し、連合会を通じ建設省などにも提案してきた全国女性建築士連絡協議会。そのテーマや内容が関心を呼び、年々、参加を希望する女性建築士が多くなり、今年から、旅費・参加費の参加者側の負担と推薦によりオブザーバー参加が認められ、北海道から4名参加した。今年のプログラムは次のとおりで、参加者は全体会と4分科会で積極的に討議。

<p>6月1日(水)13:00~18:30</p> <p>開会式</p> <p>全体会</p> <p>講演「長寿社会住宅設計指針の策定について」建設省地域住宅計画 単位士会活動状況報告(全国アンケートの結果)</p> <p>単位士会活動状況発表(4士会)</p> <p>神奈川「高齢社会を考える」</p> <p>鹿児島「潤いのある通学路」</p> <p>山形「地域に根ざした住まいと大工さんの職を」</p> <p>宮城「建築と子供たち」</p> <p>懇親会</p>	<p>6月2日(木)9:00~12:00</p> <p>分科会</p> <p>A分科会 高齢化社会に関する討議</p> <p>B分科会 地域、まち、環境に関する討議</p> <p>C分科会 住まいに関する討議</p> <p>D分科会 建築と教育(社会的参加)に関する討議</p> <p>全体会</p> <p>分科会報告</p> <p>次年度の協議会について</p> <p>全国大会関連事業について</p>
---	--

多くの女性建築士が地域で様々な社会的な活動に関わり、且つ、リーダーシップを発揮していることを改めて認識、刺激を受けた人が多かった。次年度からは、最新の情報と刺激を1人でも多く直接受けれる機会を広げたい、との思いを強くした。

各ブロックや支部活動の参考にと、4つの分科会での報告などを紹介する。(持田)



ブロックだより

道東ブロック主催で、6月5日に見学会が行われました。美幌町営住宅の建築計画を通して、「街の中における高齢者対応住宅のあり方」を考えるというテーマで 美幌町の担当の方々と一緒に今後の公営住宅の計画の参考のための見学会でした。通路には、スロープと階段の両方が設けられ、機能性を重視したものであり、又、車椅子の方むけの住居内では、段差に気配りのあるものになっているなど、良い面が多々見られました。そして、前日の6月4日には ボーリング大会と懇親会も 催され地元の青年部の素敵の方々にもお逢いでき楽しく過す事ができました。

※美幌町の女性部会の皆様お世話いただき 有難うございました。

釧路支部 佐々木 多美子

A分科会 高齢化社会に関する討議

高齢化社会での住まいに関する①高齢化対応住宅の相談②施工業者への講習・名簿づくり③リフォームヘルパー体制づくり④施工チームづくり⑤行政主導のネットワークづくりなどの活動報告が多く出され、この分野のニーズや関心の多さが明らかに。

今後の問題点として、・相談はボランティアか有料か？・相談後の施工のフォローは？・施工業者への指導とチームづくりをどうするか？・福祉・医療とのネットワークの必要性、それをだれが行うか？など、活動を継続する上でネックになる部分が宿題とされ、実践活動をすることではじめて分かる課題が浮き彫りにされた。（西代）

B分科会 地域、まち、環境に関する討議

地域性と活動(テーマ)の違い、例えば①毎年テーマ(今年は環境共生住宅)を決めアンケート、マニュアルづくり、実験住宅づくりなど月1回活動②環境(ゴミのストックスペース)を考え、提案、コンペ、アピール、市民講座③県や市町村の住宅関連補助金制度調査、施主に融資利用の環境整備アドバイス、各市町村建設課と住環境の検討④老人・子供の視点から街並み再発見の調査、アピール、パネル展示。などが明らかに、今後関心のあるテーマとして環境共生住宅の要件である「地域による省エネルギー手法の違い」「自然材料の活用」などとそのための情報交換の必要性とがあげられた。（持田）

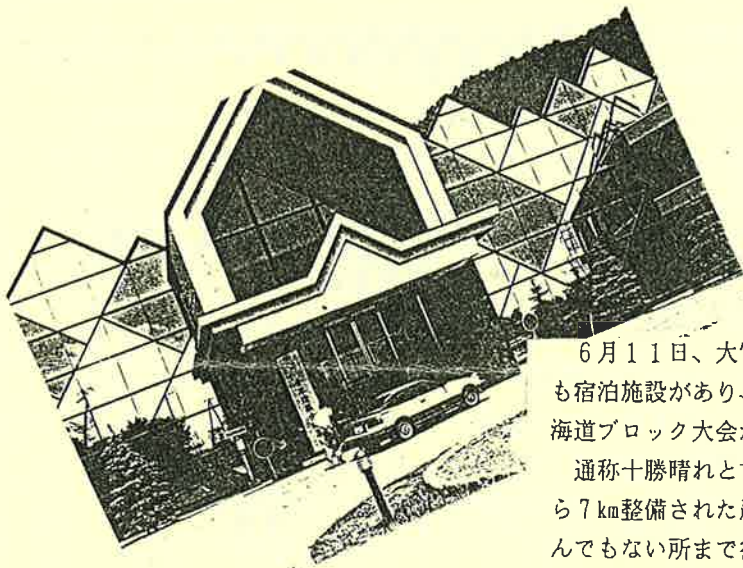
C分科会 住まいに関する討議

①社会参加②研修③相談の三つの視点からの活動報告、例えば年6回通算40回もの住宅講座や敬老の日に手すりの実費取付けの実施など様々な活動報告と問題点・評価すべき点等の意見交換が行われた。活動を継続し成功させる秘訣は、バックアップとネットワークの必要性とがあげられた。（山内）

D分科会 建築と教育(社会的参加)に関する討議

①工業高校生徒を中心に後継者育成活動(交流会、指導、アンケート調査等)②女性建築士の社会的地位向上活動(ユーザーセミナー・施工店への講習会の開催、バリアフリー建築の相談員の受託等)③「建築と子供」をテーマに社会教育活動(子供を対象に先生と一緒に、建築・まちなどを創る楽しさを体験学習させるネットワークの輪をひろげている――今年(4回目)は日米交流「まちづくり教育フォーラム」を仙台で開催)

社会活動を実践している人たちのエネルギーに魅せられ、仙台までいき子供の体験学習を実感してきたいと考えている。（浅野）



ブロックだより

6月11日、大雪山トムラウシ岳ふもとの登山学校（と言っても宿泊施設があり、露天風呂は自然の中でステキ！）を会場に北海道ブロック大会が開催され、約110名が集まりました。

通称十勝晴れと言われるすがすがしい青天に恵まれ、新得町から7km整備された農道が次々出てくるのでうっかりすると、とんでもない所まで行ってしまいます。（私も30分近く畑の中ドライブしてしまいました。）

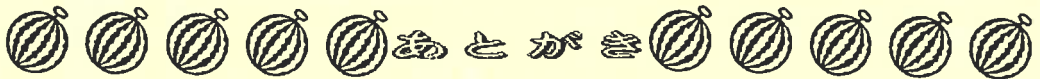
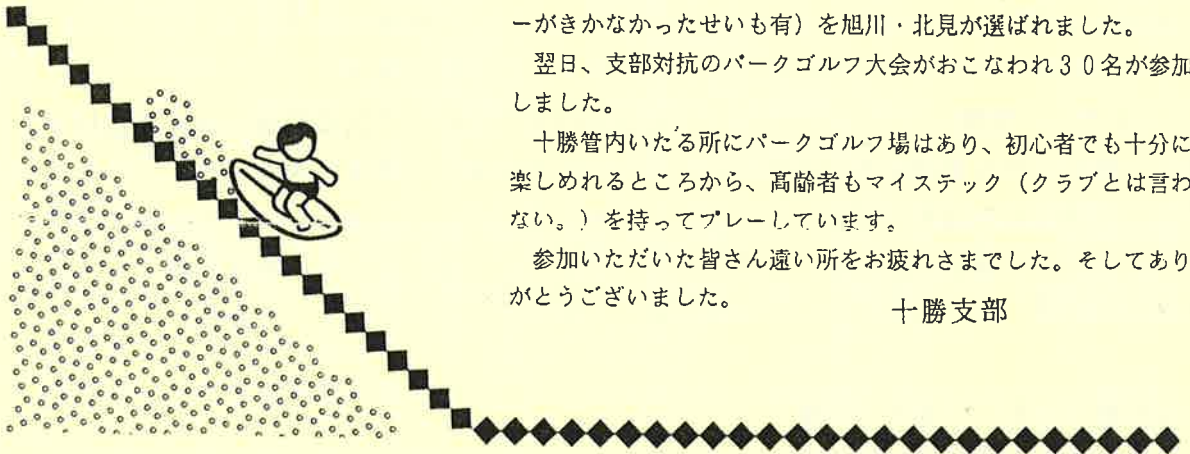
4ブロックから8名の発表があり、熱気ムンムンの中（クーラーがきかなかったせいも有）を旭川・北見が選ばれました。

翌日、支部対抗のパークゴルフ大会がおこなわれ30名が参加しました。

十勝管内いたる所にパークゴルフ場はあり、初心者でも十分に楽しめるところから、高齢者もマイステック（クラブとは言わない。）を持ってプレーしています。

参加いただいた皆さん遠い所をお疲れさまでした。そしてありがとうございました。

十勝支部



初めての広報紙作りという事で、とまどいと30℃の暑さの中
やっと完成しました。原稿を送ってきて下さった各支部の方々
ブロックだよりのスペースの都合で、掲載する事が出来なく申し訳
ありません。次号では 出来るだけ沢山掲載したいと思います。



道東ブロック北見支部 広報担当一同

